

### 第3回八重瀬町総合開発審議会 議事録

日 時：平成20年4月10日(木) 14:00~16:40  
場 所：八重瀬町役場2階大会議室  
委 員：神谷会長、宮城副会長、與儀委員、安里委員、國吉委員、仲里委員、玉城委員、小野委員、伊集委員、新垣 清徳委員、城田委員、上原委員  
(欠席：野原委員、新垣 勲委員)  
八重瀬町：金城、上地、与谷、新垣  
㈱国建：内間、江田、与儀、山城

#### 第3回八重瀬町総合開発審議会議事

総合開発審議会全体スケジュールについて  
第1次八重瀬町総合計画基本構想について

#### 【第2回総合開発審議会協議状況報告について】

事務局(上地)：「第2回総合開発審議会協議状況報告」P1 小野委員のご意見の農業についての対応として、謝花昇先生が行なった事の細かい内容は基本計画が実施計画の資料編として追加する考えである。

「第2回総合開発審議会協議状況報告」P2 神谷会長のご意見の商工業の内容についての対応として、今回の資料には「道の駅」は追加されていないが、第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)P19「商工業の振興」の施策の方針に「道の駅」等の文言の追加を検討している。

「第2回総合開発審議会協議状況報告」P3 小野委員のご意見の「下水道についての低予算による維持管理」についての対応として、今回の会議で小野委員の方からどのようなイメージなのかもう一度ご教授を願いたい。

「第2回総合開発審議会協議状況報告」P3 小野委員のご意見の健康づくりについての対応として、第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)P32 スポーツ振興に追加しているが、P27 健康づくりの推進にも追加を検討している。

「第2回総合開発審議会協議状況報告」P4 小野委員のご意見の自然環境についての対応として、第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)P38(1)自然環境の保全(土地利用関係)に追加しているが、P26の自然環境(施策の方針)にも追加を検討している。

「第2回総合開発審議会協議状況報告」P4 小野委員のご意見の農地の保全と有効活用についての対応として、第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)P38(2)のうちの保全と有効活用(土地利用関係)に追加しているが、P18の農業の振興(施策の方針)にも追加を検討している。

## 【総合開発審議会全体スケジュールについて】

事務局(上地) : 前回の総合開発審議会(以下、審議会)においては、6月議会に向けてのスケジュールを考えていたが、玉城委員から、6月も9月も変わらないという意見があったので、2つの案のスケジュールを考えた。

第1案は6月議会に向けたスケジュール、第2案は9月議会に向けたスケジュールになる。また、第2案については、町民を対象としたパブリックコメントも行なうことを検討している。

神谷会長 : 事務局としては、第1案のスケジュールで進めたい考えなのか。また、パブリックコメントとは、総合計画についての意見を聞くということか。

事務局(上地) : 地方分権社会に伴い、町民参加を促すということから、八重瀬町においても町民の意見を聞くためパブリックコメントを行なう予定。

神谷会長 : 総合計画策定の作業に入る前に、各自治体の意見を聞いた住民ワークショップを行い、町民意見を盛り込んだ総合計画になっていると思うが、さらに町民意見を取り入れた修正になるのか。

事務局(上地) : ワークショップにおいては、「住民意見を聞いて総合計画に反映させていく」という内容のワークショップであったが、今回は、第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)に対する意見をパブリックコメントにより聞いていきたいと思っている。

玉城委員 : 基本構想(案)の中に、「協働のまちづくり」という項目があるので、現段階の内容を公開するという意味では良いと思う。また、各自治会のワークショップにおいては、八重瀬町のイメージ等しか聞いていない。  
基本構想は時間をかけて検討した方が良いので、現段階の内容を公開し、住民からの問題課題の意見を聞き入れた方が良いと思う。

與儀委員 : 住民にも知らせる意味で、パブリックコメントは行なった方が良いのでは。

神谷会長 : 住民に情報を公開する事は大事なので、スケジュールは第2案として検討して良いか。

城田委員 : 仲座のワークショップに参加したが、地域の方はどのような形で基本構想が出来ると分らないと思うので、どのようなものが出来上がるのかを町民に知らせる意味で、再度地域の意見は聞き入れた方が良いのでは。

神谷会長 : 策定したものを町民にも開示し、まちづくりに関して共通認識を持つ事が大事なので、審議会としては、第2案のスケジュールを希望したい。

事務局(上地) : 審議会の意見として、再度調整を行い第2案のスケジュールで進める方向性で検討する。また、パブリックコメントも実施することで検討する。

國吉委員 : パブリックコメントとは、住民の意見を聞くということなのか。

事務局(上地) : パブリックコメントは、住民意見募集という意味になる。他に手法があるなら検討していきたい。

國吉委員 : もう一度各地域で意見交換を行なうのか。

事務局(上地) : パブリックコメントでは各地域には行かない。基本構想が出来上がってから、各地域を回って行きたいと考えている。

- 國吉委員 : どのような手法で意見を集めるのか。
- 事務局(上地) : ホームページ等を活用した意見募集を考えている。また、広報誌にすべてを記載する事は難しいので、広報誌には意見募集の内容を記載する予定であり、各公民館に第一次八重瀬町総合計画基本構想(案)を配布し、意見を募集したい。
- 國吉委員 : 時間的に6月で間に合うのか。
- 事務局(上地) : パブリックコメントは6月に3週間程度行うことを考えている。基本構想(案)に対して、住民から大量の意見がでてくることは想定していない。
- 玉城委員 : 区長会や婦人会、老人会等で説明を行ったり、全体住民説明会等のような手法もあるのでは。
- 神谷会長 : 第2案のスケジュールで何か支障はないか。
- 伊集委員 : まだ、基本構想が固まっていないので、9月を目途に検討したい。町長としては早急に策定してもらいたいという声があるが、審議会によって9月を目途に検討した方が良いという意見であれば、町長も理解してくれるのでは。
- 神谷会長 : 審議会としては、第2案のスケジュールで検討していく。

#### 【第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)について】

・事務局より第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)の修正箇所について説明。

- 國吉委員 : 表紙の絵をどのようなやり方で子供たちに公募するのか。
- 事務局(上地) : 要綱を作成し公募する予定。内容については、将来像やまちづくりの体系を示し、子供たちが考える将来の八重瀬町や 10 年後の八重瀬町の絵と絵に対するコメントを考えている。公募された絵については、委員会の中で選考していきたい。
- 國吉委員 : 子供たちへの伝え方によって発想の仕方が変わるので、公募の内容については重要なポイントになる。
- 小野委員 : 「将来の八重瀬町」よりは「わたしの好きな八重瀬町の風景」の方が地域を見てもらえるのでは。それが、地域資源の発見にも繋がってくるのでは。
- 事務局(上地) : 要綱をまとめるときには、ご意見を参考にしたい。

・事務局より第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)の追加箇所について説明。

- 神谷会長 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P9(5)「国民(町民)レベルでの地球環境対策が求められています」の中で、八重瀬町としてどのような地球環境対策をしているのか。住民ができるような問題を打ち出した方が良いのでは。また、「町民の意識の改革が求められている」だけではなく、具体的な内容を前面に出しても良いのでは。  
例えば、買物袋をマイバックに変える条例はできるのか。
- 國吉委員 : 温暖化は、日常生活すべてにおいて問題となっている。具体的に盛り込むと細かくなりすぎてしまうのでは。

- 事務局(上地) : 具体的な内容については、P25(3)「循環型社会の構築」の方で謳っている。  
: 八重瀬町の基本構想については、細かく記載しているが、具体的な内容については、基本計画に記載するか、担当課の個別計画の方で具体的に表現するか考えている。
- 小野委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P9(5)「国民(町民)レベルでの地球環境対策が求められています」については、細かく記載しすぎているので、地域レベルで行えるような内容に表現する方が良いのでは。  
オーストラリアにおいては、地域レベルでできる環境対策として、在来種の自然を保全していくということを行っている地域がある。  
緑化、ゴミ、エネルギー、食の改善等が地域一人一人の方ができる環境対策になるのでは。
- 國吉委員 : 何が出来るのかというテーマを考え、地域で出来る環境対策を検討しても良いのでは。
- 神谷会長 : 地域レベルで出来る環境対策の内容に変更しても良いのでは。
- 小野委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P9(5)国民(町民)「レベルでの地球環境対策が求められています」の一段落目は省いても良いのでは。
- 事務局(上地) : 委員の皆さんの意見で修正する方向で見直していく。
- 新垣清徳委員 : 地域レベルの内容は基本計画でいいのでは。
- 安里委員 : 地域の資源を利用した環境対策が必要なのでは。
- 神谷会長 : 総論的な内容を基本構想、地域レベルを基本計画のような考え方もある。具体的な取り組みについては、実施計画の中で表現するという内容で良いのでは。
- 上原委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P7「合併の背景」とあるが、P8～10と内容がかぶっているのでは。  
P18以降の現況・課題とあるが、これは基本計画の内容になると思う。八重瀬町らしさの表現があるなら、施策の方針に入れて、もう少し簡略化した方が良いのでは。  
基本構想の中に現況と課題があるのは、あまり見られないので、基本計画の方に盛り込んだ方が良い。  
八重瀬町らしい内容が現況と課題の中にあるので、これらを整理し施策の方針に盛り込んで。
- 小野委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P8「時代の潮流・まちづくりの主要課題」について、もう少し地域に近い内容にした方が良いのでは。  
P9(3)「国際化の進展にともない、世界に目を向けた人材の育成が求められています。」についての内容が解かりにくい
- 神谷会長 : 地域レベルでの内容の表現にしてもらいたいということか。
- 玉城委員 : 構想を作るための背景としては、大事な箇所なのは。国・県の現状があっ

て八重瀬町の現状になるのでは。

事務局(上地) : 他の市町村に比べると八重瀬町の基本構想は、ボリュームが多いのは認識している。内容を多く書くと町民は理解できないのではという意見が出ていたが、町民版として、概要版を作っている地域もあるので、概要版の作成を検討している。

概要版を作成するか、他市町村と同じような内容で整理していくか、事務局としては、今の案の形で進めていきたい考えである。

神谷会長 : この総合計画は町民の方が見る機会は少ないと思うので、主要な部分だけを抜き出し、コンパクトにまとめたものも必要になるのでは。

國吉委員 : 町民が総合計画をみて理解する人は少ないと思う。簡単にやっても細かくやっても同じと思うので、細かく表現している方が、総合計画を利用する方にとっては理解しやすい。

神谷会長 : 概要版を作成すると印刷費用の面の問題も出てくるのでは。

事務局(上地) : 住民の方に合併の背景がうまく伝わっていない状況であるため、合併の背景については、事務局の案として必要だと感じる。もし、合併の背景を省くのであれば、前回資料に記載されている合併の理念を追加したい。

印刷費用の面については、そんなに心配する必要はない。

神谷会長 : 合併後初めての基本構想であるため、第一次総合計画のみには記載していた方が良いのでは。

安里委員 : 「合併の背景」は残していた方が良い。

與儀委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P31(5) 「就学前教育の充実」に女性の社会進出や少子化の進展とあるが、「基本的生活習慣の育成」という文言を追加してほしい。

「学校教育の充実」の「豊かな心を育む教育」を「生きる力を育む」に変えても良いのでは。

「生きる力を育む情報化教育、国際理解教育など多様な学校教育の推進を図ります。」を「生きる力を育む教育の推進を図ります。」に変えても良いのでは。

「教育的・文化的風土の醸成に努め、基礎・基本を重視した授業……」の表現の仕方を変えてほしい。

神谷会長 : どのような表現に変更してほしいのか。

與儀委員 : 「就学前教育の充実」施策の方針の内容は、学校教育全体の内容になるので、前段の文章に入るのでは。

國吉委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P31(5) 学校教育の充実の「心身ともに」という表現は、何を意味しているのか。

神谷会長 : 精神的なもの、肉体的なものを表現しているのでは。

國吉委員 : 肉体的という表現は、誤解を起す可能性があるのでは。

- 與儀委員 : 「健やかな心と体、豊かな知性を備えた心身ともに…」とつなげてもいいのでは。
- 神谷会長 : 心身ともに調和のとれた人づくりは大事なのでは。
- 國吉委員 : ここで言う身体はどのような表現になるのか。
- 神谷会長 : 心と身体が共に健康な身体となるのでは。
- 國吉委員 : 身体の一部に障害がある方は、この内容に入るのか。近年このようなことが問題化しているため誤解が生じる可能性がある。
- 事務局(上地) : 心身ともに、「健やかな心と体、豊かな知性を備え」にかかっている文言となっている。
- 國吉委員 : 身体(身)を省いた方がよいのでは。
- 事務局(上地) : 細かい内容については、議会の方でも議論されていくと思うので、議会の方で対応していく。
- 事務局(上地) : 上原委員がおっしゃっていた内容について、基本構想については、前段の文のみ記載し、現況・課題・施策の方針は基本計画に盛り込んだ方が良いという意見があった。
- 上原委員 : 現況・課題のみ基本計画に移動した方が良いのでは。
- 事務局(上地) : 玉城委員のように、基本構想でも細かい内容があるとしっかり現状がわかってよいのでは。という意見があったが、現況・課題については、資料編に移すまとめ方もあると思う。
- 小野委員 : 施策の方針だけでは解かりにくいかもしれない。
- 與儀委員 : 現況と課題があるから方針が見やすいのでは。
- 神谷会長 : テーマに対して、現況と課題を踏まえてどのような方針で進めていくのか。という見せ方やコンパクトにまとめる考え方もある。
- 上原委員 : 総合計画とは、基本構想と基本計画、実施計画がセットとなっている。基本計画の中に現況・課題があるので、基本構想には方針だけでいいのでは。基本構想にも現況・課題があると基本計画と同じ内容になってしまうのでは。そのため、基本構想には、方針だけの内容を盛り込んだ方が良い。
- 事務局(上地) : 今回の基本構想のようなまとめ方は、あまり見ないがやっている自治体もある。基本計画の方は、具体的な内容を入れていく予定。
- 神谷会長 : 現状のままが良いのか、簡素化したほうが良いのか。
- 玉城委員 : 色々手法はあると思うが、よりわかりやすくするには、八重瀬町はどのような町で、どのような現状・課題があり、どのようなことを考えているのかということでは、現段階のまとめ方の方がわかりやすい。基本方針だけだとどのようなイメージなのかがわからないので、ボリュームが多少あっても構わないのでは。
- 上原委員 : 基本構想の現況と課題については、八重瀬町のみではなく、広範囲の問題・課題で整理されているが、八重瀬町の夢づくりを行えるような課題の整理をするともっと八重瀬町らしさが出せるのでは。

現況・課題は基本計画に盛り込まれていくので、基本構想では大雑把に表現しても良いのでは。

神谷会長 : 基本構想はもっとコンパクトにまとめて、基本計画の方で細かく表現する手法も良いと感じるが、施策の方針を出すためには、現況・課題が必要となってくるので、現況・課題・施策の方針をまとめていた方が良い。基本計画は基本構想からまとめていくため、重複する箇所も出てくると思うが、現状のまとめ方で良いと思う。

玉城委員 : ポリュームは多くなると思うが、現状のまとめ方で良いと思う。

神谷会長 : 今回の資料を熟読し、次回の審議会も中身の濃い審議を行っていきたい。

玉城委員 : 総合計画には、アンケートやワークショップの内容も記載するのか。

小野委員 : 住民からのキーワードは載せていても良いと思う。

玉城委員 : アンケートやワークショップの内容は資料編として出すのか。

事務局(金城) : 審議会では、基本計画まで審議を行ってもらう予定であり、今の基本構想は基本計画も一緒にまとまっているような形になっている。ポリュームが多くなるためコンパクトにまとめていきたい。

玉城委員 : 基本構想に現況・課題があるなら逆に、基本計画から省く方法もあるのでは。

事務局(上地) : 町民の方にどのように伝わるかが大事なのは。

玉城委員 : 簡素化するならば、従来のように見出しだけ記載する方がよいのでは。しかし、見出しだけだと内容が伝わらない。

事務局(上地) : 本編に残すか、資料編として残すかどのようにまとめるかは、次回の審議会に持ち越して議論していただきたい。また、今日の議論でポリュームが多いという内容もあったので、もう少し簡素化してまとめていく。

神谷会長 : 今回の審議会でどのようにまとめていくか決まらなかったなので、この内容は次回の審議会に持ち越す。

事務局(上地) : 次回の総合開発審議会の日程は、5月13日(火)AM9:30とする。

玉城委員 : 第1次八重瀬町総合計画基本構想(案)P31(5)夢と未来を開く心豊かなまちづくりの前段の文章中の「伺えます」という言葉が第三者的な表現になっているので、文言の修正をしてほしい。あと、同ページ「学校教育の充実」の施策の方針「学校数育」が誤字になっている。

以上